

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名

熊本県天草市

事業名称

地域活性化課題解決モデル「Webの駅」天草情報タワー

1. 事業実施概要

天草市は、10市町の合併以後、各地域の課題を市単一の課題として解決する必要が生じた。具体的には、地元商店街での消費低下、観光客数の伸び悩み、地域活動の温度差、市街地と山間部の情報格差の拡大などである。

そのため、平成19年度から『「Webの駅」天草情報タワー』を構築し、今年度は、平成19年度構築した基盤システム「Webの駅構築システム」を活用し「観光ガイドシステム」、「保・幼・小・中学校情報共有システム」の機能を高めると共に、新たに、生産者と加工者のマッチングを行う「生産加工ネットワークシステム」、保育園等に子どもを預けていない親に子育て情報を配信、ファミリーサポート事業を支援する「子育て支援システム」、天草Webの駅全体を通じて利用促進を行うための「ポイント管理システム」の構築を行っている。

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
会員登録数	16,500人	20,961人	○	システム登録数(団体メンバー含)
観光情報サイトへのアクセス数	9,160人/月	47,730人/月	○	システムアクセス数
宿泊施設のシステムによる予約者数	360,000人/年	0人	×	旅館業組合と調整中
商店街活性システム参加店舗数	1,400店舗	35店舗	×	システム登録数
幼稚園・保育園の保護者参加数	1,600名	23名	×	システム登録数
保健師・栄養士参加数	160名	0名	×	健康増進課と運用調整中
システムサポートボランティア数	30名	0名	×	登録者数
田舎暮らし応援システムへのアクセス数	1,500名	0名	×	グリーンライフ天草・農業振興課と調整中

生産・加工ネットワークへの参加者数	600名	0名	×	
子育て支援システムへの参加者数	1,300名	0名	×	
小中学校の PTA 参加者予定数	4,400名	0名	×	
アンケート調査による地域情報取得満足度	40%	未測定	×	

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

天草 Web の駅の基盤機能を利用した個人のホームページ作成や団体におけるコミュニティ等の利用は活発で、会員数も微増であるが順調に増えてきている。しかしながら、平成 20 年度開発の活用システムについては一部運用を開始できていないものがある。この原因としては、システムを利用する団体への広報活動不足が考えられる。また、現状ではシステム運用団体がいないため、運用及び広報活動を天草市で行うこととしている。

(1) 宿泊施設システムによる予定者数

これまでシステム運用団体が未定であったことから、システムの運用が軌道に乗るまで天草市が運用する事となった。今般、システム利用団体である本渡地区の旅館業組合員へシステム内容と操作方法の研修会を実施した。今後、各地区の旅館業組合員へ説明会を実施することから、徐々にシステムを利用した宿泊予約が見込まれる。

(2) 商店街活性システム参加店舗数

本システムも運用団体が未定であったことから、システムの運用が軌道に乗るまで天草市が運用する事となった。天草市物産振興協会への操作説明を実施した事から同協会会員をモデルケースとして、商店街や個人店主へのシステム利活用を推進していく。

(3) 幼稚園・保育園の保護者参加数

本システムの運用は、利用する幼稚園や保育園で行うこととしている。現在 2 保育園が保護者との連絡に活用しているものの、他の保育園への広報が不足していたため、目標が達成できていない。

今後は、利用中の保育園をモデルケースとして、システムの利活用を推進していく。

(4) 保健師・栄養士参加数

保健師・栄養士ともに高齢者が多く、パソコンの操作に不慣れであり、高齢者の方のパソコン技術の向上やサポートボランティアの整備など Web の駅を利用できる環境整備が必要となる。

(5) システムサポートボランティア数

今般、市内にパソコンのスキルアップを支援する NPO 法人が組織された。しかしながら、

まだ発足したばかりで実働人員も少数であるが、今後は、Web の駅の利活用のため連携していく必要がある。

(6) 田舎暮らし応援システムへのアクセス数

現在、利用団体であるグリーンライフ天草及び農業振興課において、空家情報や地域情報等を収集しているが、まだ提供される情報が少なく、アクセス数が伸びていない状況である。

Web の駅のホームページに提供される情報とも連携を取り、内容を充実させる必要がある。

(7) 生産・加工ネットワークへの参加者数

平成 21 年度に構築したシステムであるが、システム協議に期間を要した事から利用者及び利用団体への広報が遅れた事から参加者が確保できなかった。

(8) 子育て支援システムへの参加者数

平成 21 年度に構築したシステムであるが、システム協議に期間を要した事から利用者及び利用団体への広報が遅れた事から参加者が確保できなかった。

(9) 小中学校の PTA 参加者予定数

平成 21 年度に構築したシステムであるが、システム協議に期間を要した事から利用者及び利用団体への広報が遅れた事から参加者が確保できなかった。

(10) アンケート調査による地域情報取得満足度

平成 21 年度はアンケート未実施により未測定である。平成 22 年度の後期の情報化計画策定の際に情報化に関するアンケートを実施する事としている。

<委託業務説明書>

1 平成21年度事業実施において明らかとなった課題

- ・ 各システムについて運用案などを提示し、運用団体を募っているが、実際のシステムが構築されてからでないとしたような運用になるかわからず、作業量や費用面が不明瞭である事から運用を引き受ける団体がみつからない。
- ・ 成功事例を知らないため、具体的なビジネスモデルを検討しようとした際にリスクばかり気にしてしまい、ビジネスモデルを見出せないでいる。ICTを用いてまち興しを行っているような先進地の視察を行う必要があると思う。
- ・ 多くの住民に利用してもらえよう講習会を開催しているが、高齢者が多く、パソコンの基礎からの講習となり、Webの駅内でのホームページの作成ができるようになるまでには期間が必要となる。
- ・ 使いこなしている人と使いこなしていない人の差が拡大しており、システムへの要望が簡単に使えることに加えて高度なことができるようになってきている。システムの多様化による運営費の拡大が懸念される。

2 自律的・継続的運営の見込み

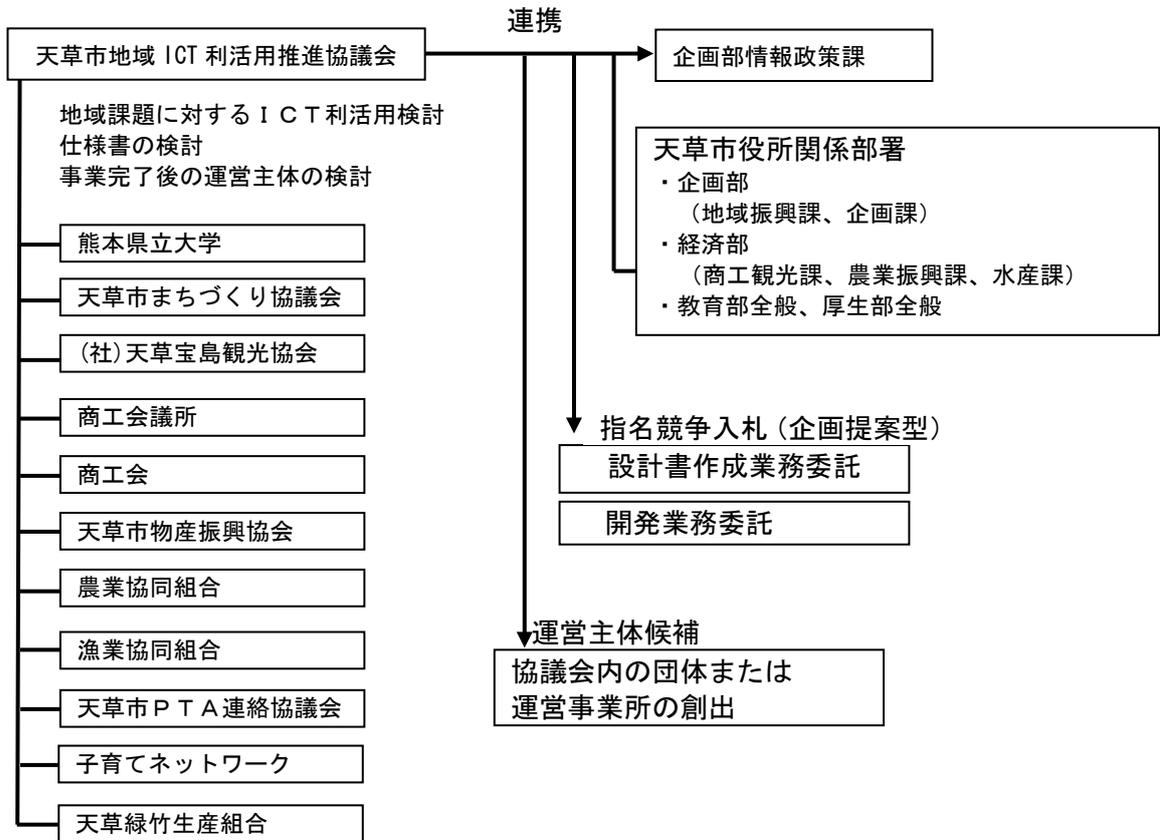
- ・ 平成20年度に開発した新たな収入源となる機能について広報活動を行っているが事業主が高齢者のところが多く、システムに対して抵抗感がある。これらの事業所のシステム運営を行う事務団体等の設立が必要と思われる。
- ・ システムの大部分が完成したことから全体像を住民が把握できるようになってきている。運営業務もだいたい見えてきたのでそれらを整理して見せることでこれまでの見えない業務への不安も払拭できると思われる。
- ・ パソコンのスキルアップや情報化に関する導入支援を行うNPO法人が設立した事から今後は、Webの駅におけるシステムの運用や利活用において連携をはかる必要がある。

3 今後の展開方針

本来であれば今年度システムを完成させ、来年度以降は民間団体へシステムを委譲する計画であったが、協議会で検討を重ねても、引き受ける団体が見つからないというのが現状である。これまで市が広報や講習会を行うとともに運営を行ってきたが限界が感じられるので、来年度以降についてはシステムの運営は市で行うものの広報や講習会は業者へ委託するなどの完全民間委譲と行政による運営の中間のような運用形態を模索して数年後の民間委譲を目指したい。

<実施体制説明書>

1 実施体制



2 各主体の役割

No	名 称	役 割
1	熊本県立大学	ウェブアクセシビリティやユニバーサルデザイン、ICT 技術及び利活用事例など専門的な立場からの助言や調査の実施。なお熊本県立大学とは包括連携協定を結び政策研究や人的交流を行っている。
2	天草市まちづくり協議会	まちづくり協議会や地区振興会を中心とした地域コミュニティ活動充実のため、ICT の利活用について検討
3	(社)天草宝島観光協会	魅力ある観光地づくりのため、地域資源を生かした観光ルートの開発や観光客の受け入れ体制の整備などの地域課題と ICT 利活用について検討
4	商工会議所	既存商店街の活性化や地場産業の育成及び企業の誘致に向けた各団体の連携と ICT 利活用について検討
5	商工会	既存商店街の活性化や地場産業の育成及び企業の誘致に向けた各団体の連携と ICT 利活用について検討
6	天草市物産振興協会	天草の特性を生かしたブランドづくりや販売ルートの確立のため、ICT利活用について検討
7	農業協同組合	天草の特性を生かしたブランドづくりや販売ルートの確立のため、ICT利活用について検討
8	漁業協同組合	天草の特性を生かしたブランドづくりや販売ルートの確立のため、ICT利活用について検討
9	天草市PTA連絡協議会	親が安心して子育てできるための環境づくりや家庭・学校・地域の連携のため、ICT利活用について検討
10	子育てネットワーク	親が安心して子育てできるための環境づくりや家庭・学校・地域の連携のため、ICT利活用について検討
11	天草緑竹生産組合	天草の特性を生かしたブランドづくりや販売ルートの確立のため、ICT利活用について検討

事業実施進行表

実施内容	H22												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
関係課連携調整 会議	●————→						●	- - - - ->					
	連絡調整会議（随時開催）							連絡調整会議（定期開催）					
I C T利活用推 進協議会準備					●	————→							
天草市I C T利 活用推進協議会							△ △	△	△	△	△		
設計コンサル事 業者決定準備					●	————→							
設計コンサル業 務（設計及び開 発監督）							●	————→		●	————→		
								設計業務		開発監督			
システム開発事 業者決定準備								●	————→				
システム開発業務										●	————→		
システム稼働											●	————→	
										完成分より随時運用開始			
広報活動 （PR・講習）	●	————→											
アンケート調査											●	————→	
報告書作成										●	————→		

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] <http://amakusa-web.jp> [天草 Web の駅]

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：熊本県天草市

事業名称：地域活性化課題解決モデル「Webの駅」天草情報タワー

1 概要

①ポイント管理システム

天草会員に様々な不可サービスを提供するための地域マネーカードでポイント管理や利用履歴管理を可能とするシステムを構築する。

②観光ガイドシステム

平成20年度までに構築したシステムに始点と終点を設定することで、その間の交通アクセスや観光スポット及び宿泊案内を受ける観光ナビゲーション機能及び観光案内ボランティアの予約機能を追加する。

③保・幼・小・中学校情報共有システム

学校教育の充実を図るため、学校間、保護者間、校区内などの情報交換、情報交流について、携帯電話やパソコンなどを利用した配信を可能とする。

④子育て支援システム

保育園などに入園していない親でも子育て情報や子育てに関する地域情報を入手できるシステムを構築する。

⑤生産・加工ネットワークシステム

地産地消、天草ブランドの創出、販売など地場産業の活性化を支援するシステムを構築する。

2 運用結果

システム構築が広範囲であった事から、システム仕様の検討に時間を要し、委託期間においてはシステムの構築のみで利活用についてはこれからである。推進協議会においてシステムを利用した方々の意見では、今後「生産・加工ネットワークシステム」を活用することで、新たな天草ブランドの創出が可能ではないかとのことであった。

3 課題・改修の必要性

今年度開発した観光ナビゲーション機能において、携帯GPS機能との連動は盛り込んでいないため、利用促進のためにも機能追加が必要である。

4 その他